

## 第25回 口腔機能って何だろう？

＝ 「口腔ケア」は、認知症の症状変化に伴ってかえていく ＝

北九州在宅医療・介護塾  
塾長 久保 哲郎

今回は「認知症と口腔ケア」についてご紹介します。

認知症の方のなかには、歯磨きをしたかどうかを忘れてしまう人がいますが、症状が進行すると、例えば、歯ブラシの使い方がわからなくなったり、うがいの際の水の吐き出し方がわからなくなったり、更には歯磨きの方法まで忘れてしまう場合もあります。

そのため、認知症の症状の進行に伴って、上を向いて大きく口を開けた状態で行う「ガラガラうがい」は、誤って気管に入り誤嚥するリスクが高くなることもありますので、意識レベルが低下している人や、感覚障害や運動障害がみられる人の場合には避けた方が良いでしょう。

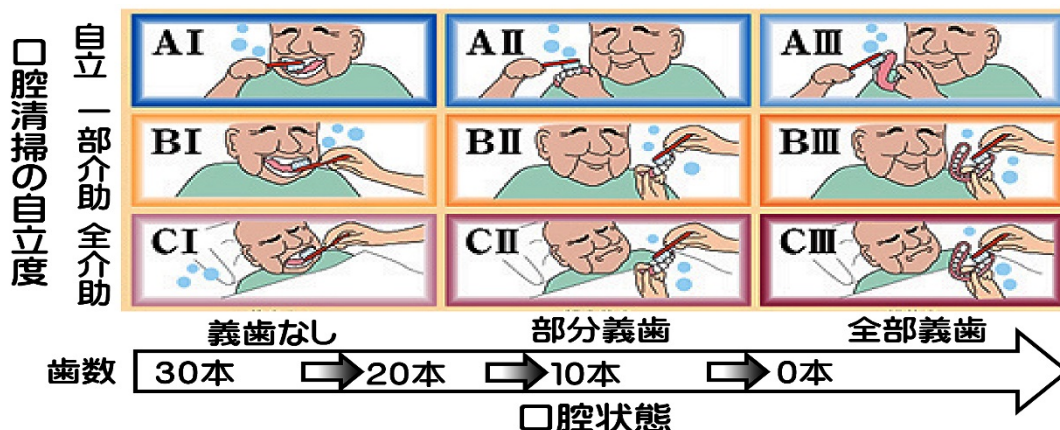
また、寝たきり状態で上半身を起こすことができない場合には、「ガラガラうがい」や「ブクブクうがい」のどちらのうがいもできませんので、認知症の症状を十分に確認し、状態に合った口腔ケアの方法にかえていくことが必要です。

また、物事を認識することができなくなっても、長年の生活習慣は身につけていますので、認知症が進んでいても、洗面台に向かうと、いつものように歯ブラシを取り、いつものところに置いているコップに水を注ぐことができる人もいますが、このような場合でも介護者の方に注意していただきたいのは、「紛らわしいもの」を近くに置かないということです。例えば洗顔剤やハンドクリームなどのチューブに入ったものは、歯磨き剤と間違えてしまうことが多いので一緒に置かないように注意しましょう。

そして、自分が入れ歯をしていること自体忘れてしまっている人もいますので、このような場合には無理強いせず、鏡を使用するなどして優しく説明してあげてみてはどうでしょうか。

※口腔ケアや食介護等で困っている方は、本会事務局までFAXでお尋ねください。事務局より対応法等について回答させていただきます。FAX：093-882-5599

### 高齢者口腔ケア分類表



参考：高齢者の自立度と口腔状態に対応したオーダーメイドの口腔ケア